

指 導 技 術		観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	社会的な見方・考え方を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導入	授業規律…チャイムで始業できるように早めに教室に行き授業規律を徹底させる。 板書…前時に学習したことの中の重要語句を板書し、本時の学習につなげる。 教材提示…できるだけ視覚にうったえるものを用意して印象づけたり、興味・関心をもつ発問を用意して授業にのぞむ。 授業構成…本時の目標を提示し、課題意識をもたせる。	前時の基本的なことから復習や身近な話題や最近のニュースの話から授業を始めることにより、興味・関心を引き出す。	社会的事象に対しての様々な見方や考え方を示すように配慮する。	教科書・資料集の写真や資料を活用して疑問や調べる課題を引き出す。また、新聞などを活用して時事的な問題とのつながりを考えさせる。	重要事項の板書やプリント記入・小テストなどを使って理解の定着を図る。 [学力の向上を図るための調査]を参考にし内容を考えさせる。
展開	板書…発問の答えを考えながら書く部分と、まとめながら書く部分を区別しながら書いていく。また、書く量が多ならないように内容を精選する。わかりやすい板書を心がける。 ノート指導…単元の終わりなどに自分の考えを書かせたり、重要事項に色を付けたりして、自分なりのノートを作るように指導する。 発問…授業内容が深まるような発問を考えて授業にのぞむように心がける。 個別指導…地図・資料などを使用する場面では、机間指導をしたり班学習などで作業の遅い生徒を補助する。 授業規律…メリハリのついた授業を心がける。私語が多ならないように授業規律を徹底させる。	例えや身近な事柄を授業の中に入れ、理解しやすくする。質問をできるだけ工夫し、答えやすくする。 生徒をできるだけ指名したりしながら授業を進める。	社会的事象について、「なぜ」そうだったかを問いかけながら説明し、場面によって話し合いやプリントなどの方法で自分の考えを明確にしていく。	地図やグラフ・年表・資料などの見方を説明し、印をつけさせたり、そこからわかることを言わせたり、話し合わせたりする。	単なる暗記にならないように、社会的事象の背景などを考えさせた上で理解させる。
まとめ	発問…本時に学習した事項について発問をし、それに答えさせながら重要事項の確認をし、基本事項の定着を図る。 板書…授業のまとめを板書を見ておこなう。	発問により考えさせたり、発言させたり、プリントに記入するなどの方法で分かったことの確認をすることにより、達成感をもたせるようにする。	ノートやプリントにまとめさせることにより考えを明確化し、人の意見や教師の指導を通して視野を広げさせるようにする。	点検活動などをこまめに行い資料活用能力の向上をめざす。また、問題演習などについて、達成感をもたす工夫をする。	プリントへの記入や教科書へのマーキング、また、発問などによって重要事項の確認や定着を図る。問題練習を通じて知識の定着を図るよう促す。